

		1年次		2年次		3年次	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期
		医学の基礎と理学療法の基本的な評価を学びます。自ら学ぶ姿勢を身につけ、人間性を磨き、倫理感を培います。		様々な疾患についてと理学療法全般を学びます。施設での体験を行い、臨床における一連の過程を学びます。		医療職としての実践能力を身に着け、チームの一員としての責任と自覚を培います。基礎知識と専門知識を繋げ、学習の総仕上げを行います。	
専門分野 (臨床)				臨床評価学 I では、協力施設において教員の指導の下、臨床での評価を行います。検査項目の選択などの事前準備、評価の実施、最後に学内で報告書作成といった臨床における一連の過程を学びます。 			評価実習(3週)・臨床実習(9週・9週)では、病院や施設において、指導を受けながら理学療法を実践します。
				検査測定学演習	評価実習		
専門分野	理学療法評価学 理学療法管理学	検査測定学	検査測定学では、上級生と一緒に検査測定手技を繰り返し練習します。 	臨床評価学 I 障害別評価学 動作分析学 理学療法研究法 運動療法学 I 物理療法学 義肢学 日常生活活動学 中枢神経疾患理学療法学 難病・運動器疾患理学療法学 高齢者理学療法学	臨床評価学 II 症例演習 理学療法研究法 運動療法学 II 物理療法学 装具学 日常生活活動学 内部障害理学療法学 小児理学療法学 生活環境学	臨床実習	専門理学療法演習 基礎理学療法演習
							基礎知識を専門知識として身につけるための演習です。 
専門基礎分野	解剖学 機能解剖学 運動学 生理学 内科学 神経内科学 精神医学 地域保健福祉学 医学概論	解剖学 機能解剖学 運動学 生理学 内科学 臨床心理学 病理学概論 薬理学	機能解剖学では、体表から骨や筋への触診が詳細に行えることを目標としており、検査測定のスリルアップにも繋がります。 	運動器障害学 整形外科学			
基礎分野	学びの技法 I 物理学 医学英語	学びの技法 I 医療教育学 医療統計学 人間発達学 医療倫理学	学びの技法 II	学びの技法 II			学びの技法 I・II では、国家試験の問題を利用し、主体的な学習とグループ学習により、自ら学ぶ姿勢を身につけ考える力やコミュニケーション力を培います。 

国家試験